

水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する

# 第58期決算説明会

(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

株式会社 **MORESCO**

**MORESCO Corporation**

<http://www.moresco.co.jp/>

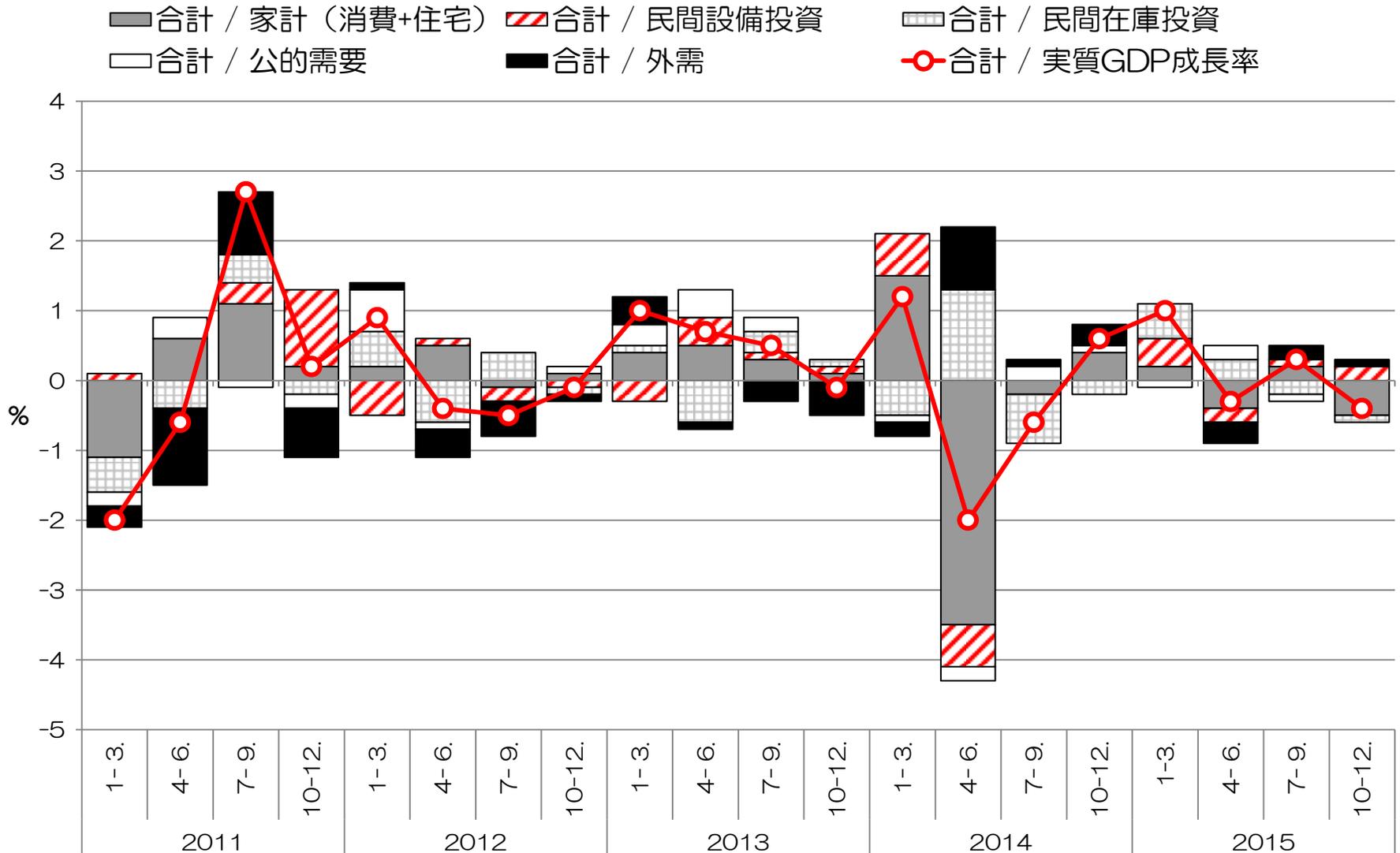
**東証一部 5018** (石油・石炭製品)

2016年4月

# 当期の経営環境(1)

## 四半期別 実質GDP寄与度 推移

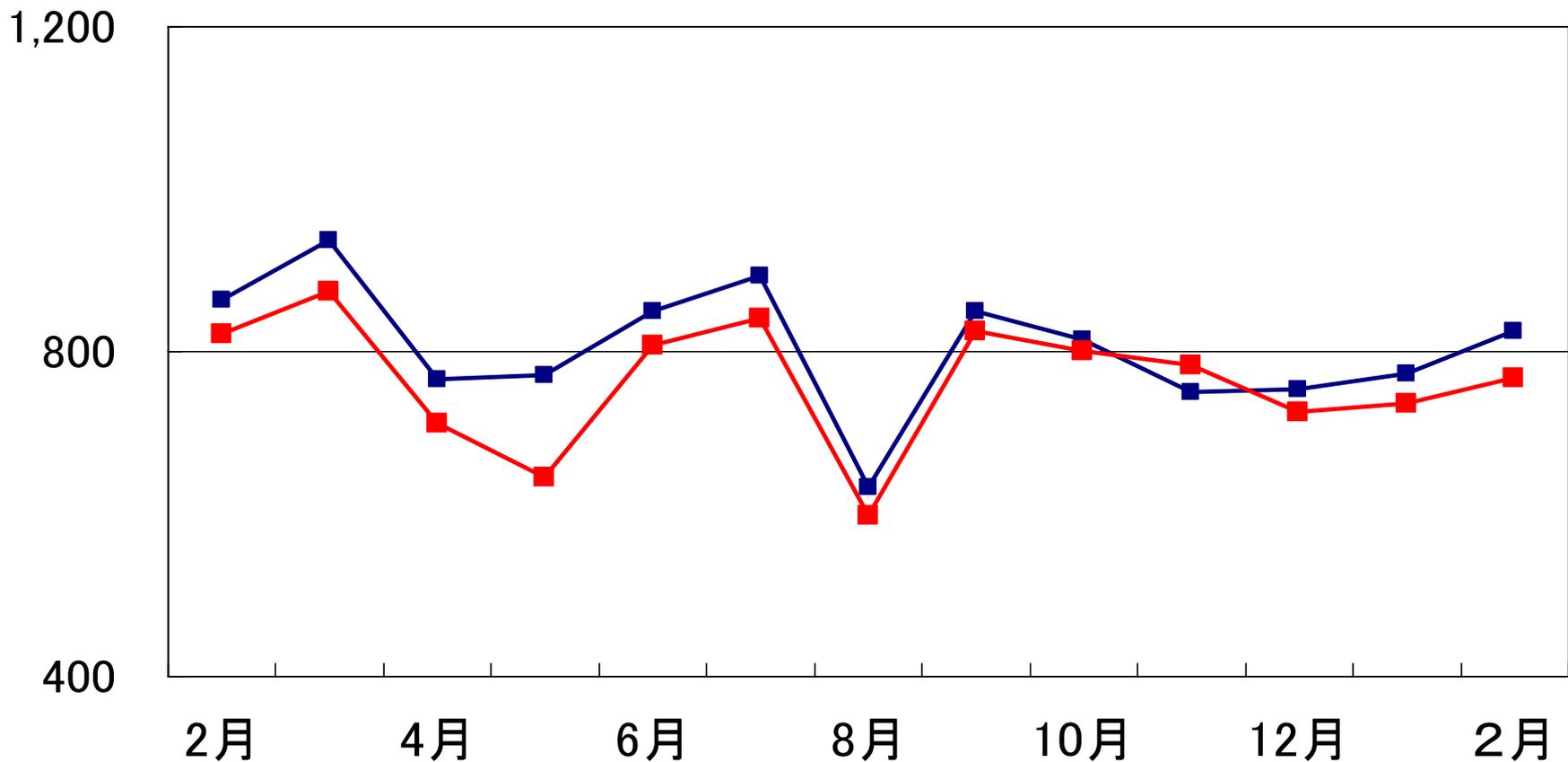
出典:内閣府



# 当期の経営環境(2)

千台  
国内 月別 自動車生産台数

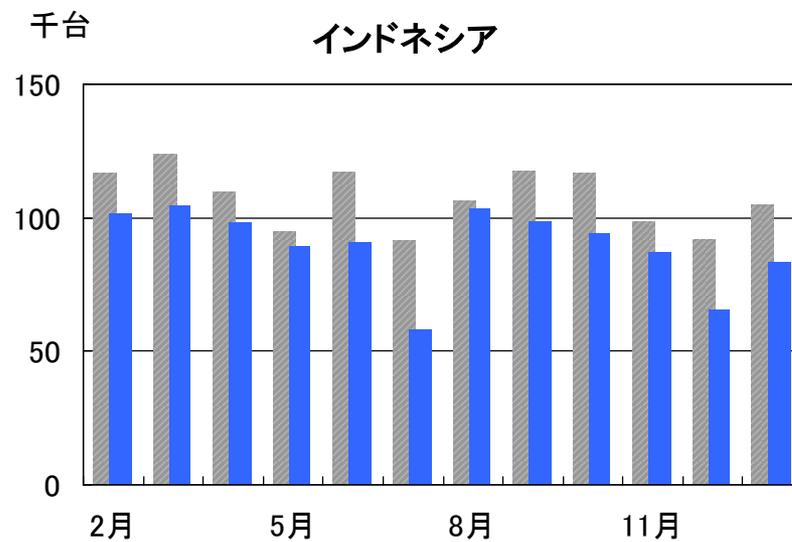
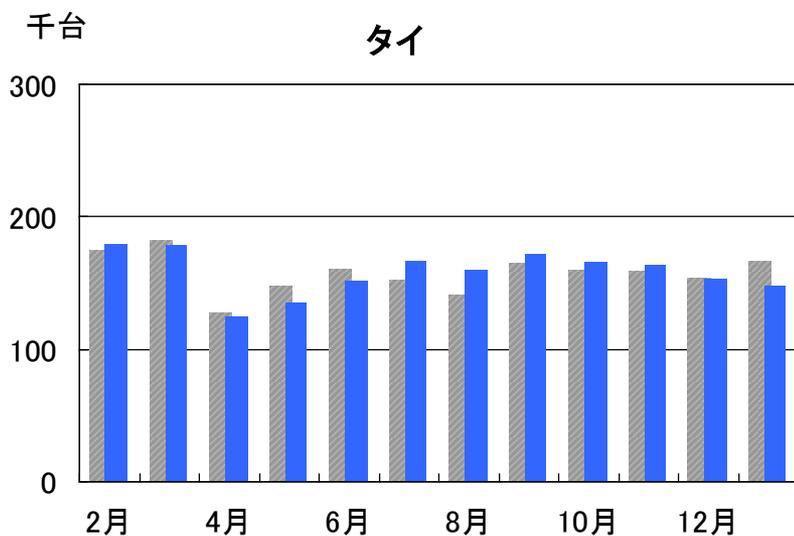
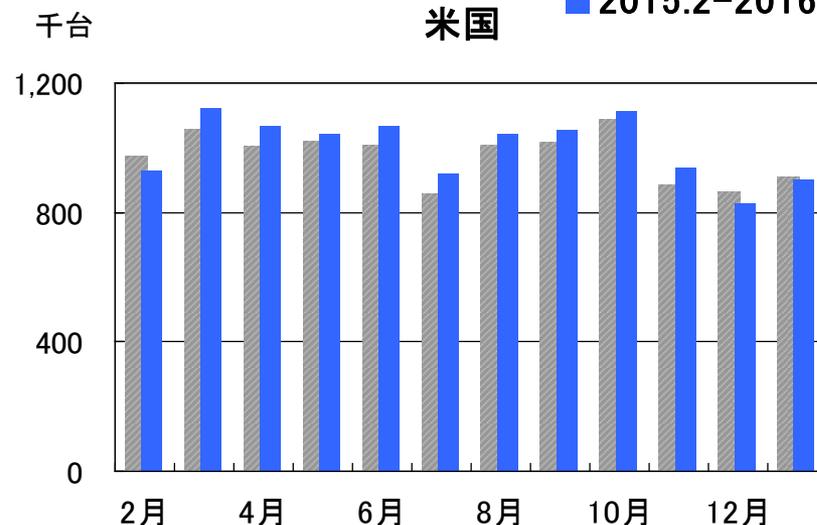
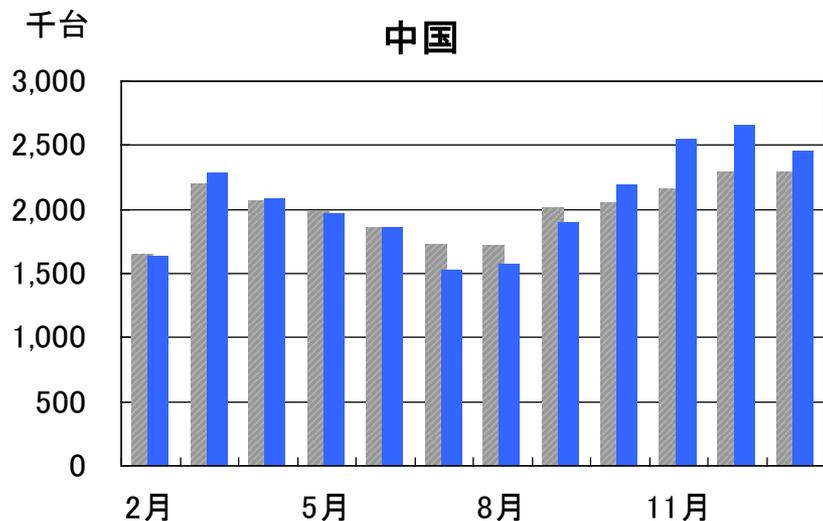
■ 2014.2-2015.2  
■ 2015.2-2016.2



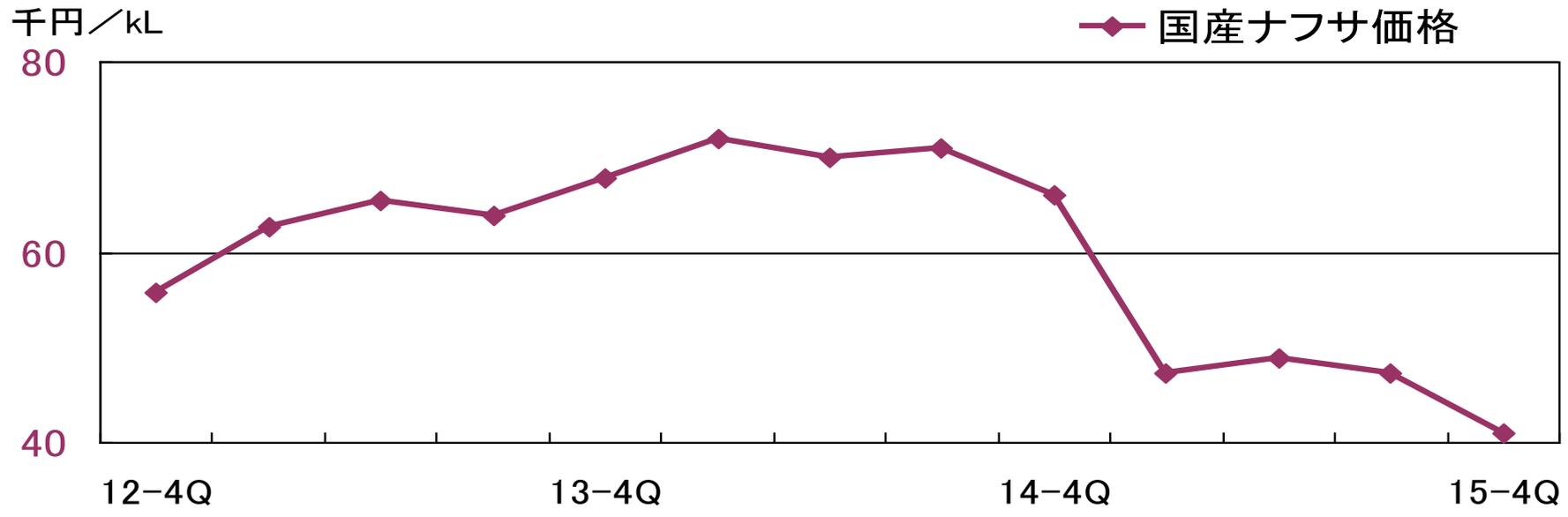
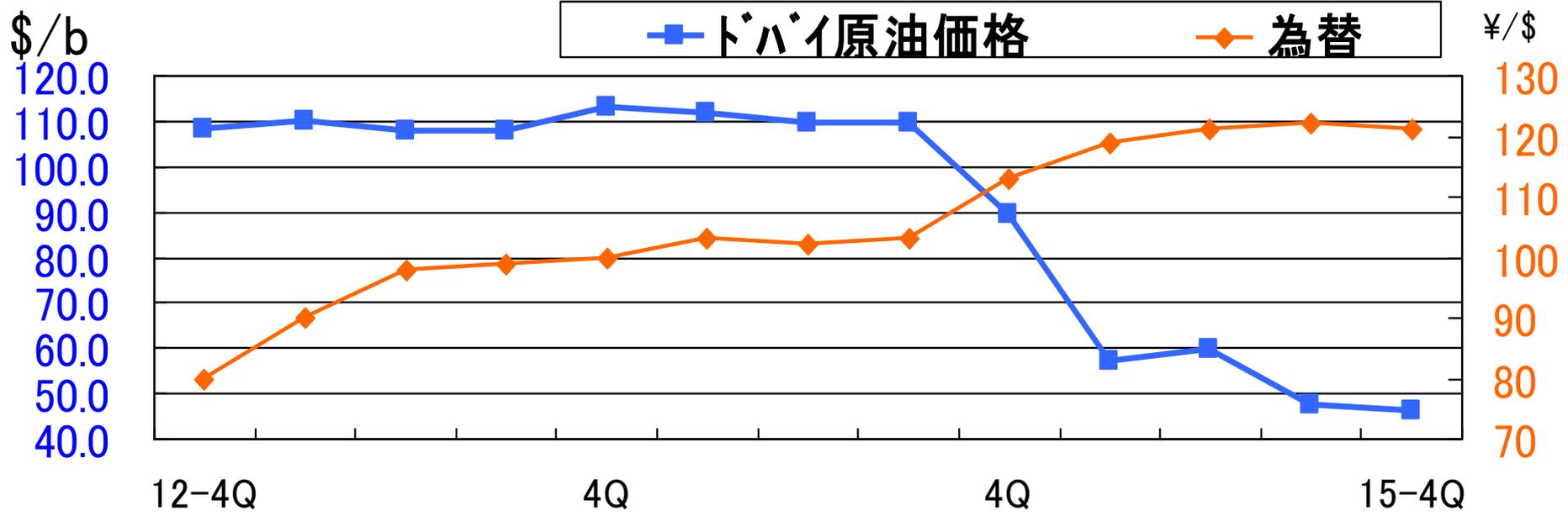
# 当期の経営環境(3)

## 海外自動車生産台数の推移

■ 2014.2-2015.1  
■ 2015.2-2016.1



# 経営環境(4)



# 決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	15/2期	16/2期	前期比
売上高	26,820	26,266	△2%
売上総利益	8,116	8,539	+5%
販管費	5,866	6,414	+9%
営業利益	2,250	2,125	△6%
営業外損益	515	253	△51%
経常利益	2,765	2,378	△14%
税引前利益	2,765	2,378	△14%
当期純利益	1,639	1,526	△7%

# 部門別売上高の内訳

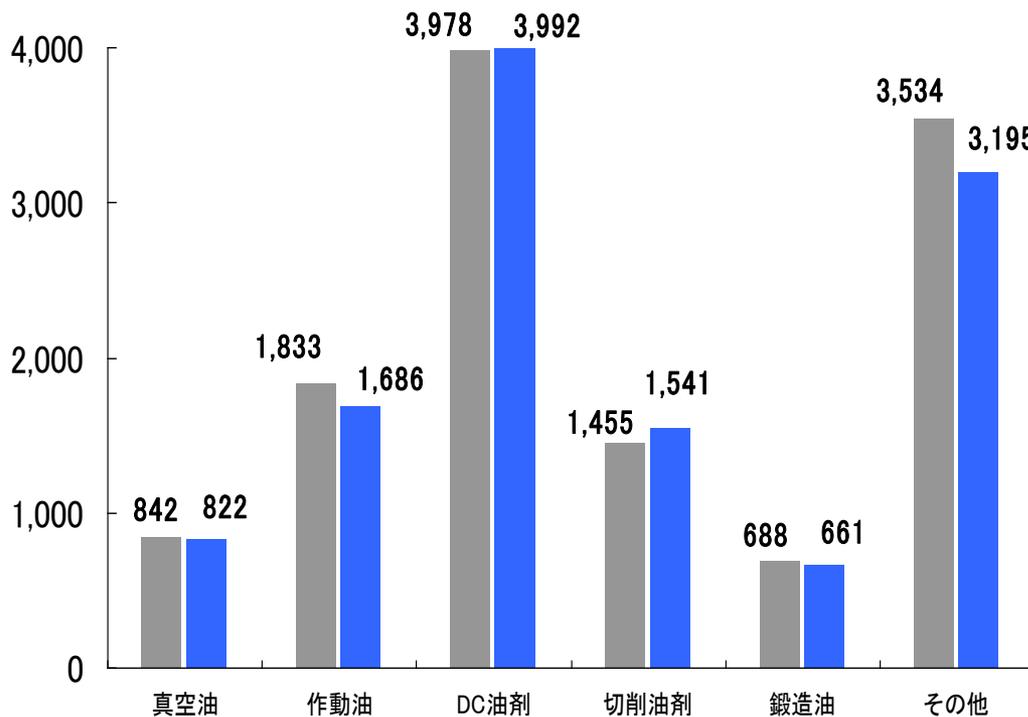
単位:百万円

	15/2期	16/2期	前期比
特殊潤滑油部門	12,330	11,897	△3.5%
合成潤滑油部門	2,787	2,800	+0.5%
（うち、HD潤滑剤）	(1,546)	(1,612)	+4.2%
素材部門	4,024	3,554	△11.7%
ホットメルト接着剤部門	6,311	6,628	+5.0%
その他	1,315	1,334	+1.5%
化学品事業計	26,766	26,212	△2.1%
ビル事業	54	54	0.6%
売上高合計	26,820	26,266	△2.1%

# 当期の実績（特殊潤滑油部門）

◆部門全体の売上は前年比3.5%減（11,897百万円）  
数量は 5.3%減

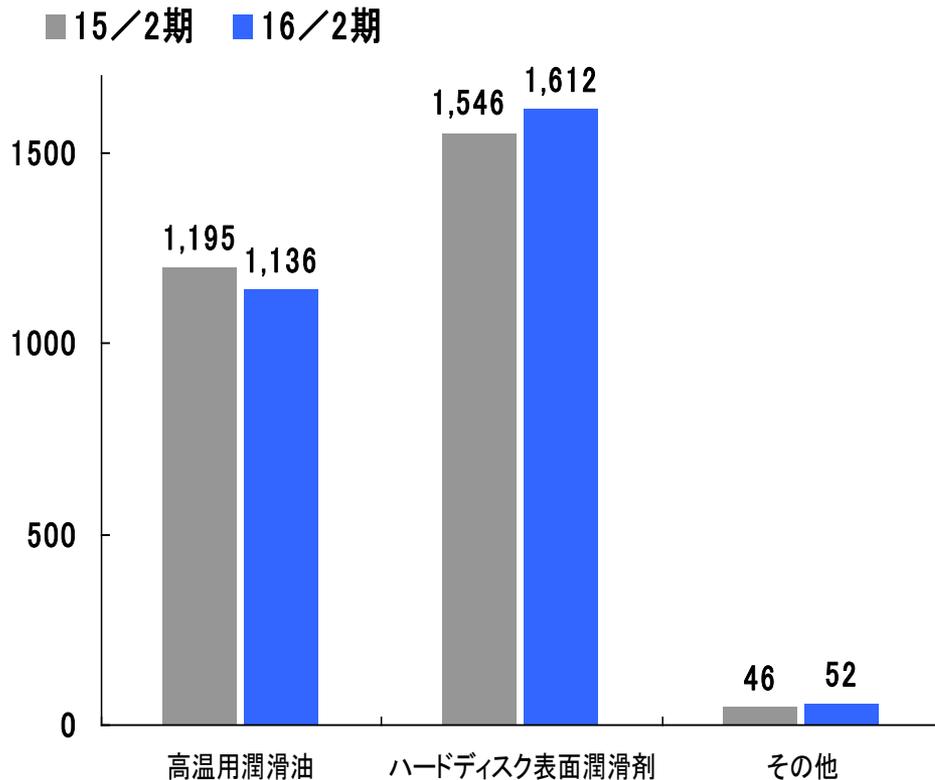
■ 15/2期 ■ 16/2期



- **ダイカスト用油剤**
  - ・数量減少するも、円安により売上高増加
- **切削油剤**
  - ・国内、中国での新規獲得により数量、金額ともに増加
- **その他**
  - ・LLC(ロングライフクーラント)の輸出減少とラインの減少

# 当期の実績（合成潤滑油部門）

◆部門全体の売上は前年比 0.5%増(2,800百万円)  
数量は 8.2%減

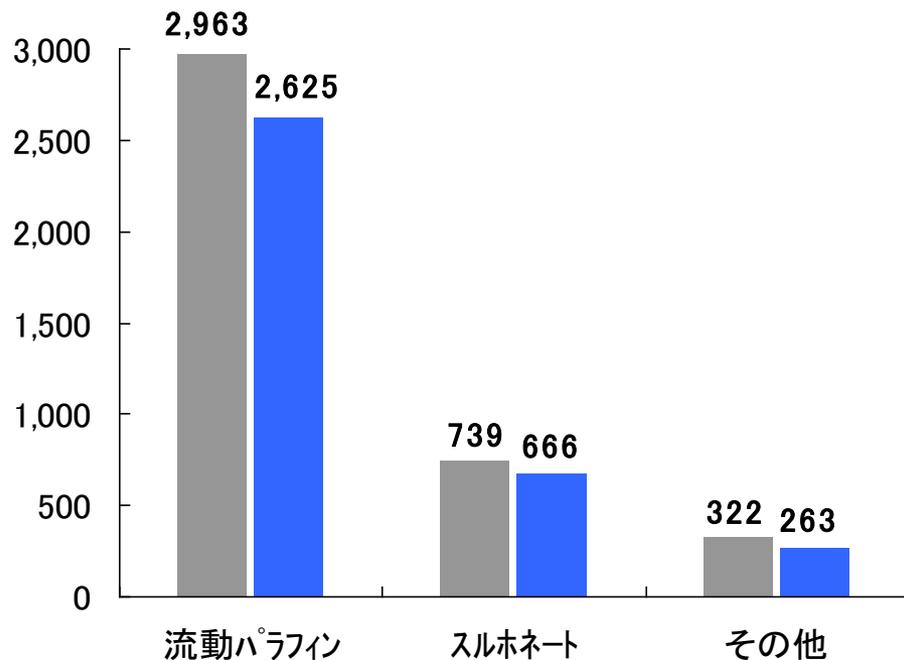


- 高温用潤滑油  
自動車向けグリース用途等  
・日本、中国他の自動車生産台数の低迷により伸び悩む
- ハードディスク表面潤滑剤  
・数量は減少したものの単価アップ、円安により売上増

# 当期の実績（素材部門）

◆部門全体の売上は前年比11.7%減(3,554百万円)  
数量は 3.0%減

■ 15/2期 ■ 16/2期



## ➤流動パラフィン

・原材料価格低下に伴う販売単価の下落により売上高が減少

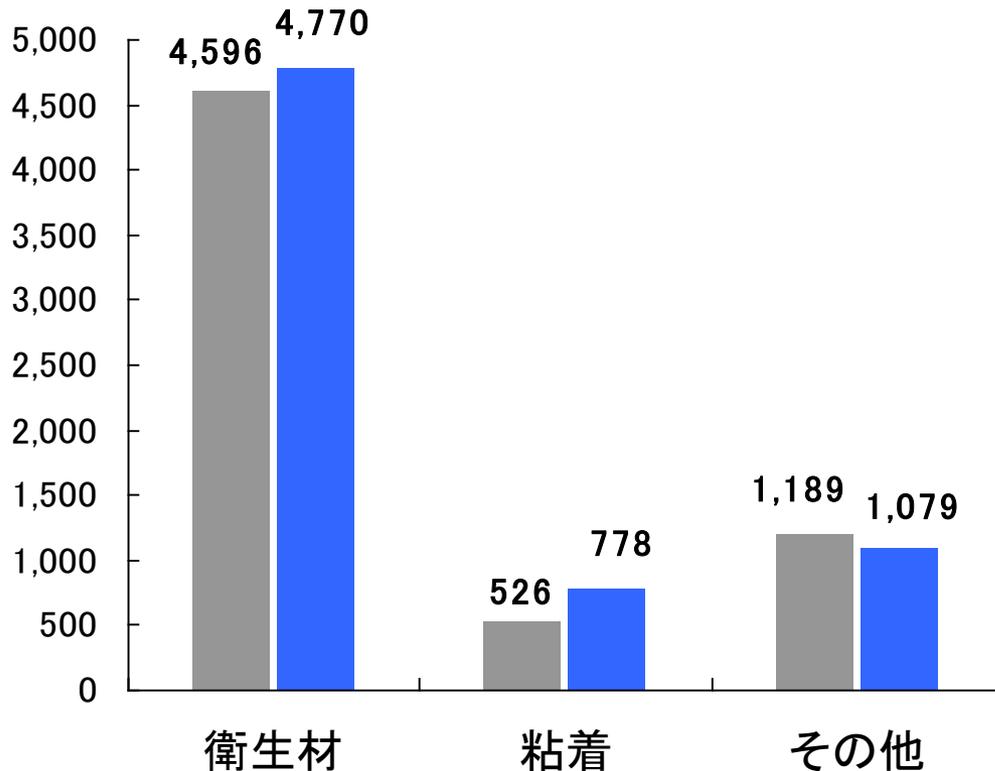
## ➤スルホネート

・金属加工油の添加剤向けも伸び悩む

# 当期の実績（ホットルト接着剤部門）

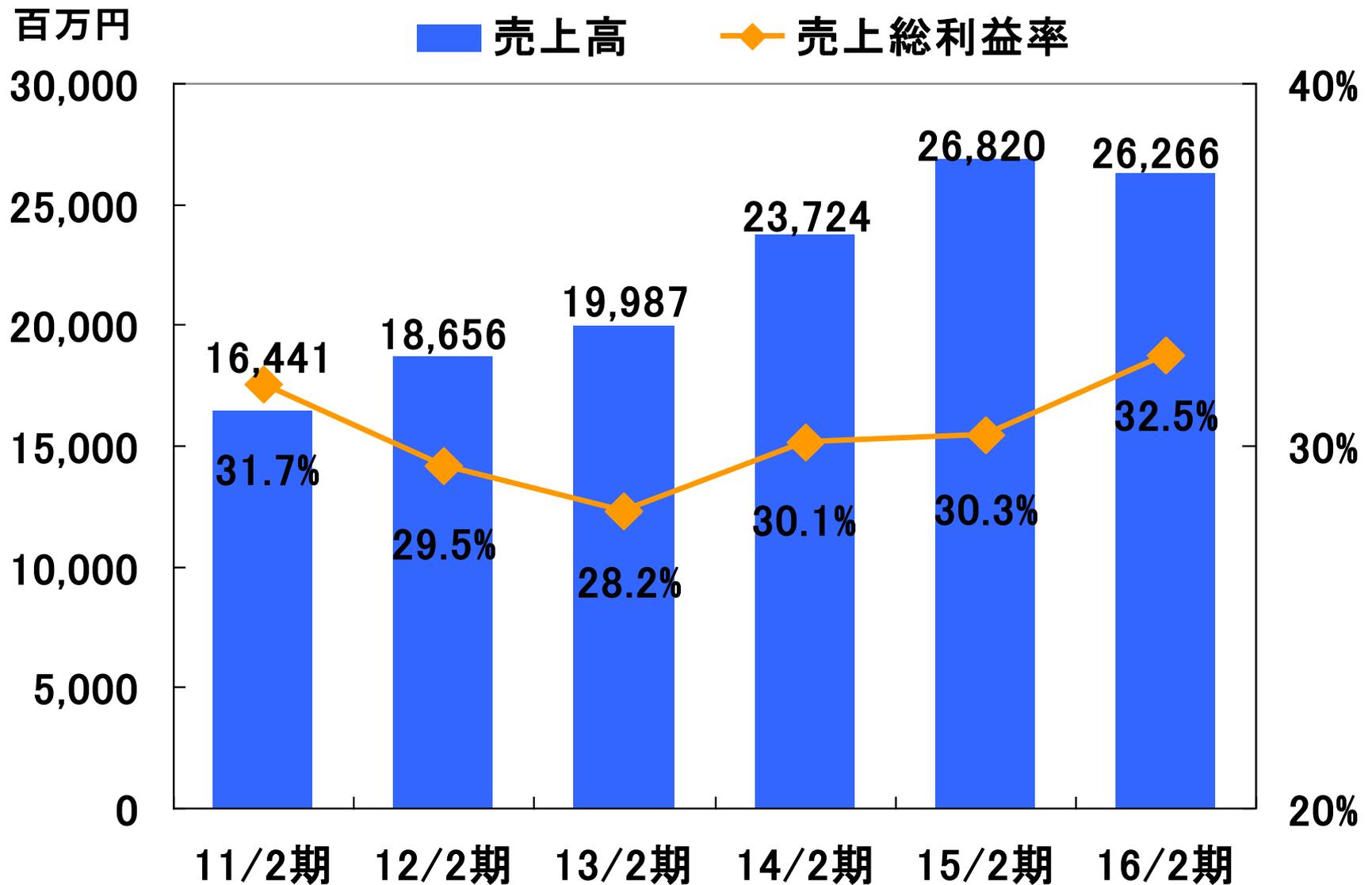
◆部門全体の売上は前年比5.0%増(6,628百万円)  
数量は 6.4%増

■ 15/2期 ■ 16/2期



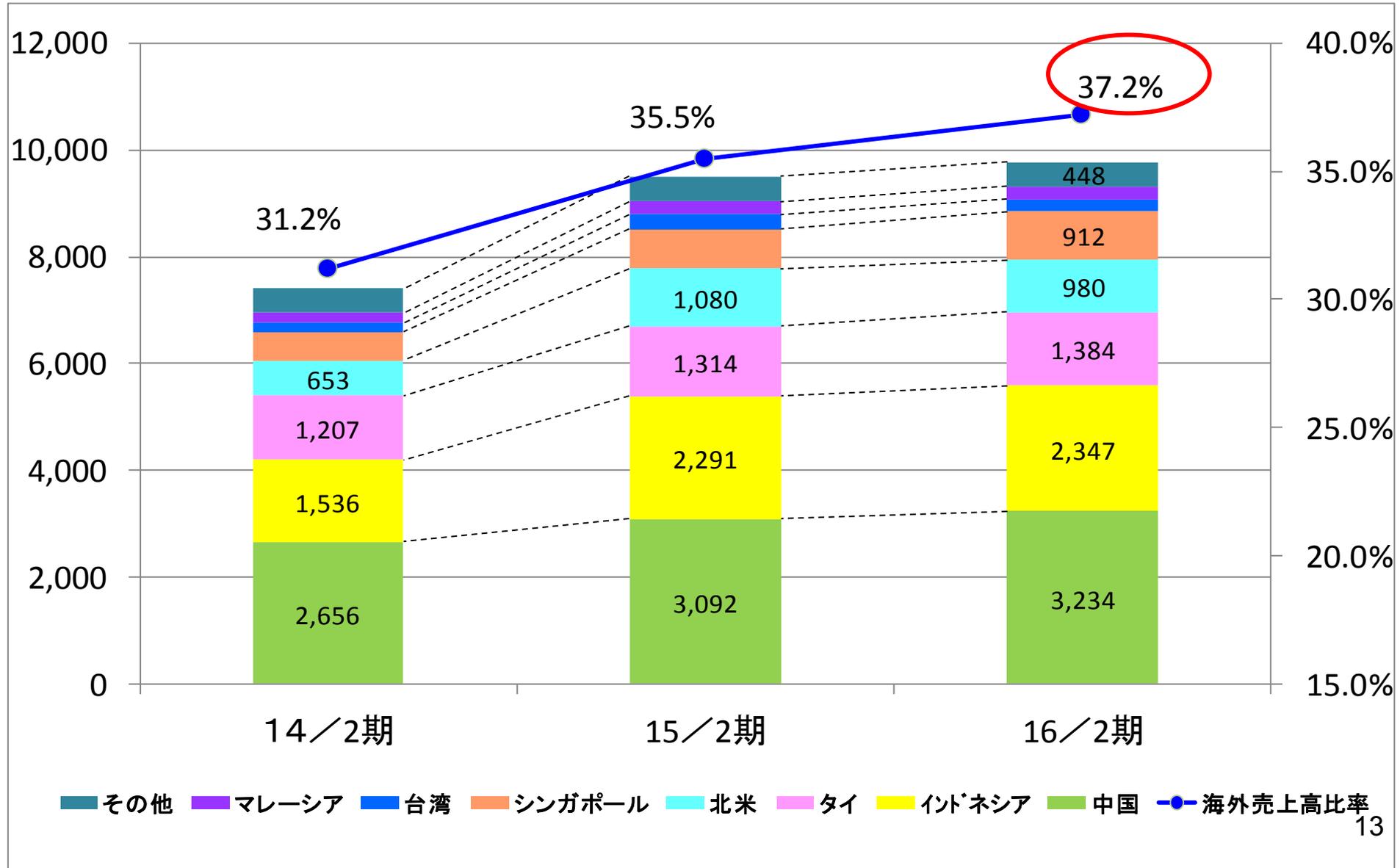
- 衛生材
  - ・主力の大人用紙おむつの好調により衛材関係の売上高が堅調に推移
- 粘着
  - ・新規顧客獲得により増加
- その他
  - ・フィルター向け需要減少

# 売上高,総利益率の推移



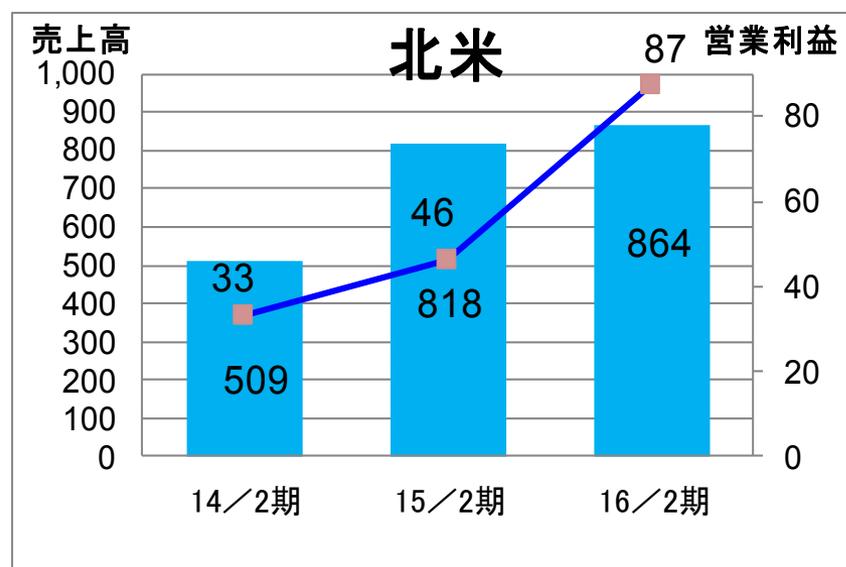
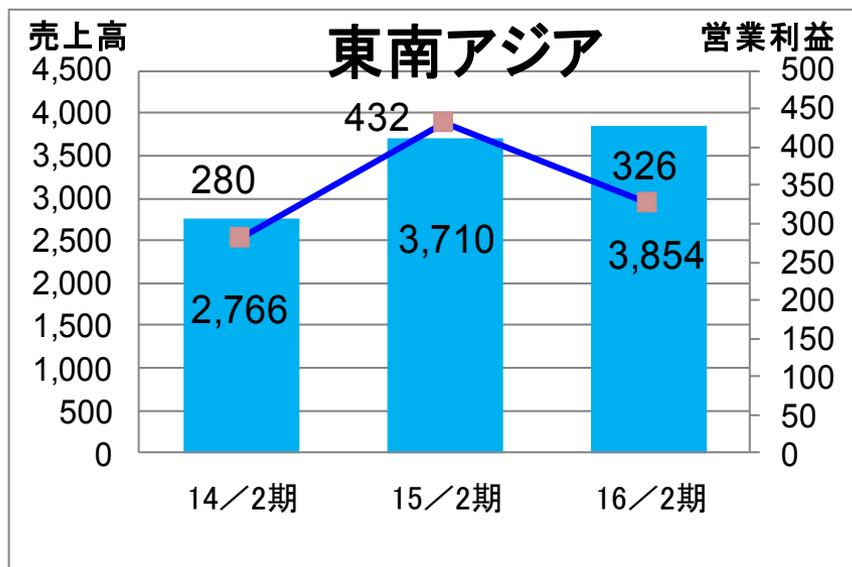
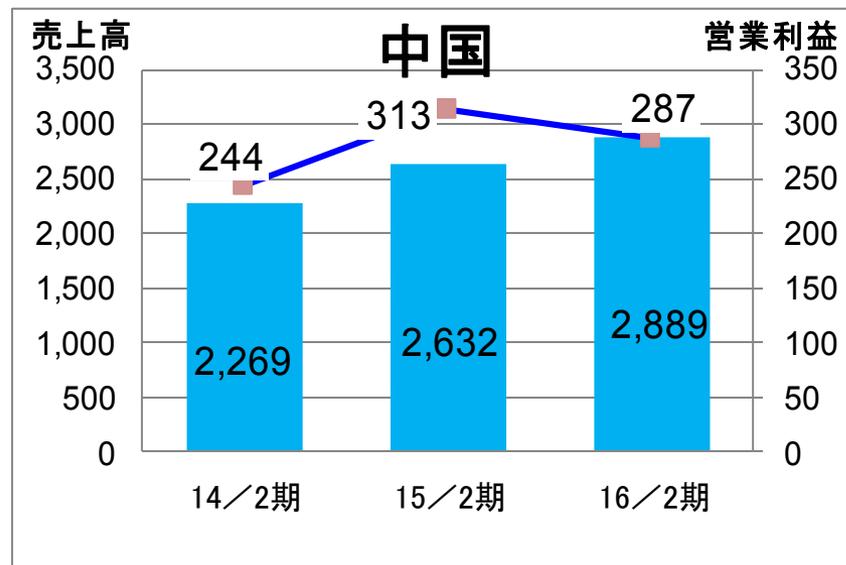
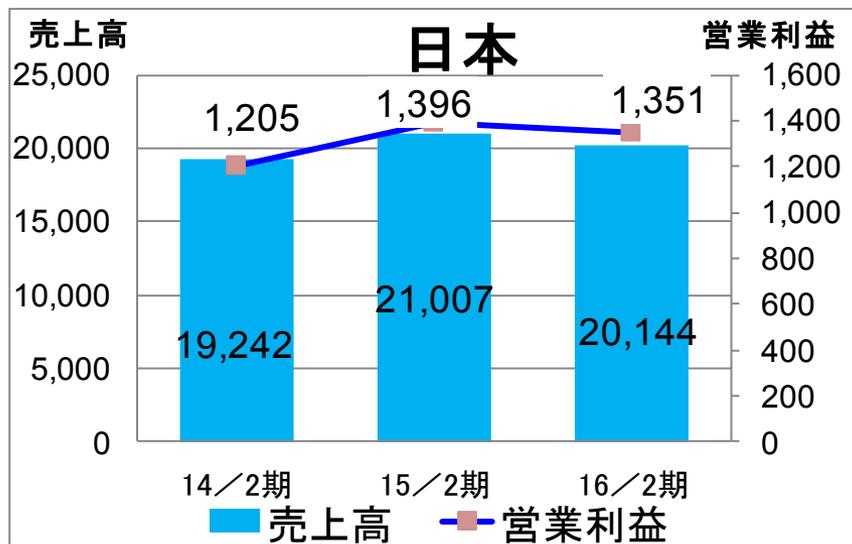
# 海外売上高(連結)

単位:百万円



# 地域別損益(連結)

単位:百万円



# 販売費・一般管理費

単位：百万円

	15/2期	16/2期	増減	前期比
販売費・一般管理費	5,866	6,414	+549	+9%
うち、研究開発費	1,087	1,031	△56	△5%

売上高販管費比率	21.9%	24.4%
----------	-------	-------

売上高研究開発費比率	4.1%	3.9%
------------	------	------

## <経費の増加要因>

- ・人件費、物流費、交通費(海外出張等)
- ・天津MORESCO設立費用
- ・円安

# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	16/2期	増減	科目	16/2期	増減
現預金	2,412	△ 90	仕入債務	4,574	△ 484
売上債権	6,321	△573	有利子負債	3,759	487
棚卸資産	3,990	△97	その他流動負債	1,704	△228
その他	421	89	その他固定負債	556	△196
流動資産計	13,144	△ 671	負債合計	10,594	△ 421
有形固定資産	8,083	1,404	資本金・資本剰余金	4,041	0
無形固定資産	1,677	△78	利益剰余金	8,323	1,332
投資その他	1,941	△220	その他の包括利益累計額	382	△560
固定資産計	11,701	1,106	少数株主持分	1,505	84
			純資産合計	14,251	855
資産合計	24,845	434	負債・資本合計	24,845	434

注)増減:15/2期との比較

# 有利子負債

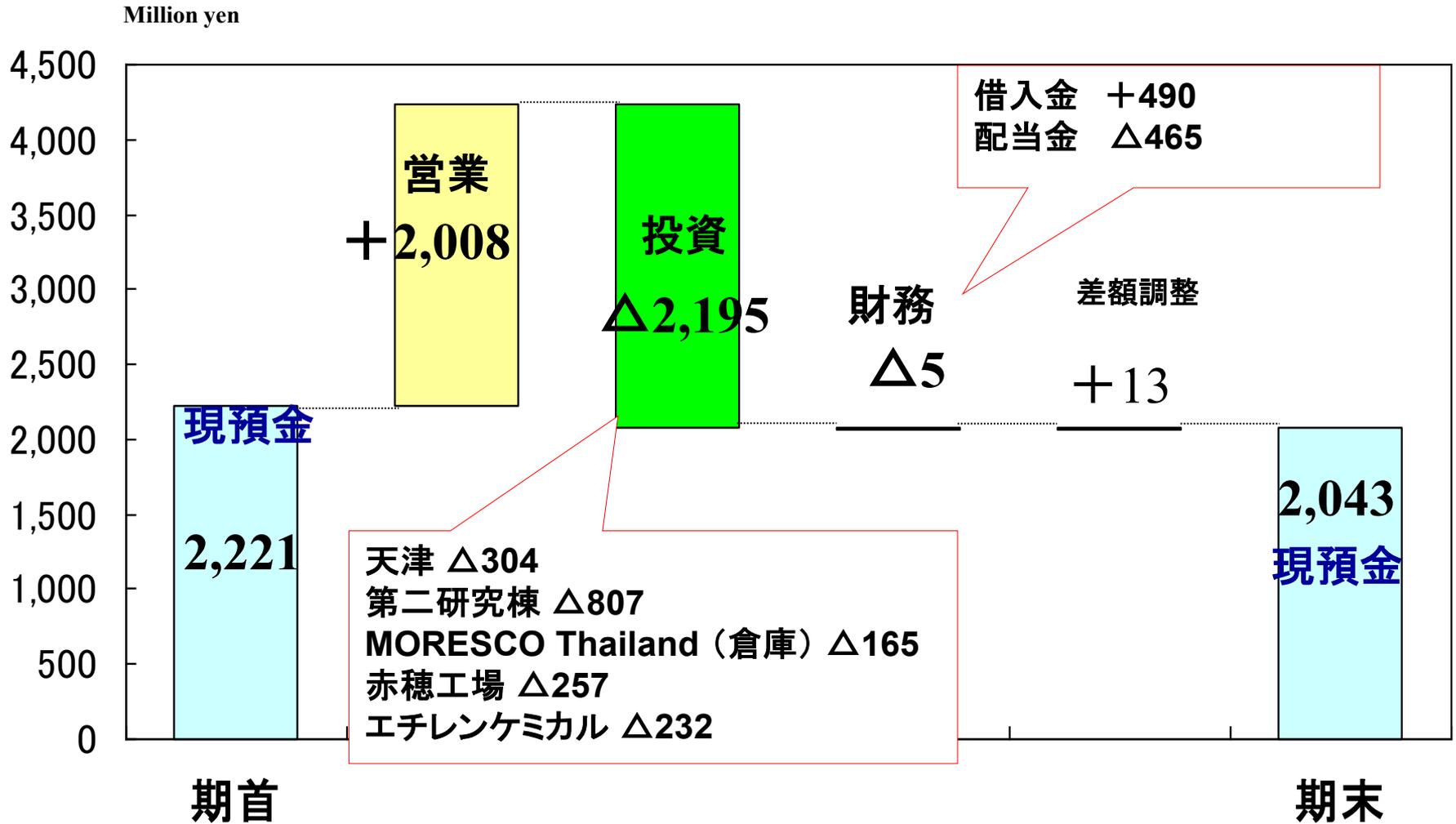
単位:百万円

	15/2期末	16/2期末	増減
短期借入金※	1,898	2,211	+313
長期借入金	1,374	1,548	+173
合計	3,272	3,759	+487

有利子負債比率	13.4%	15.1%
---------	-------	-------

※ 1年以内の長期借入金を含む

# キャッシュフロー



# 2016年度計画

単位:百万円

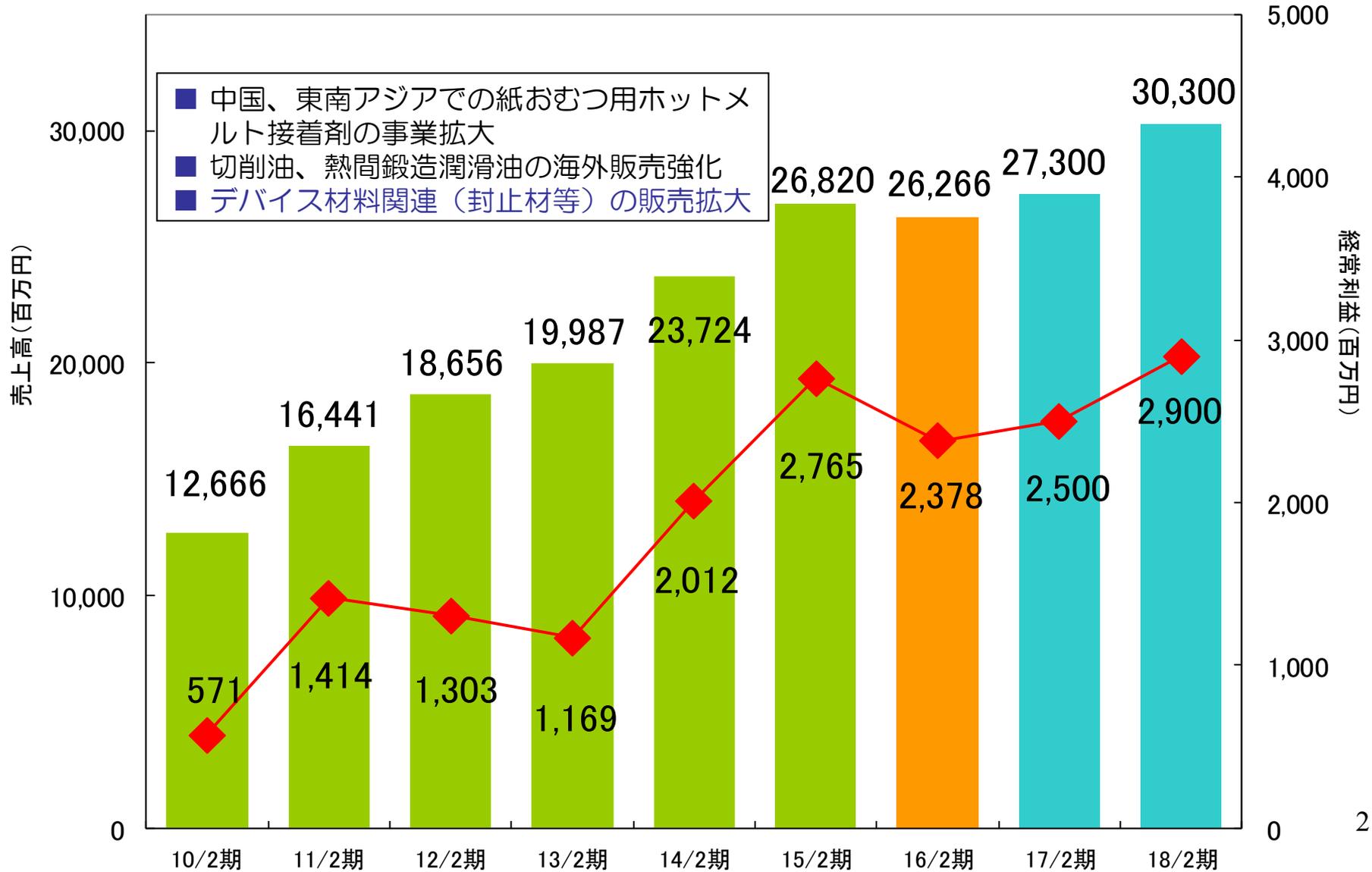
	2015年度	2016年度 上期	2016年度 下期	2016年度
売上高	26,266	13,300	14,000	27,300
営業利益	2,125	1,000	1,100	2,100
経常利益	2,378	1,200	1,300	2,500
当期純利益	1,526	750	850	1,600

# 中期経営計画

# 直近の業績と第7次中期経営計画(修正)

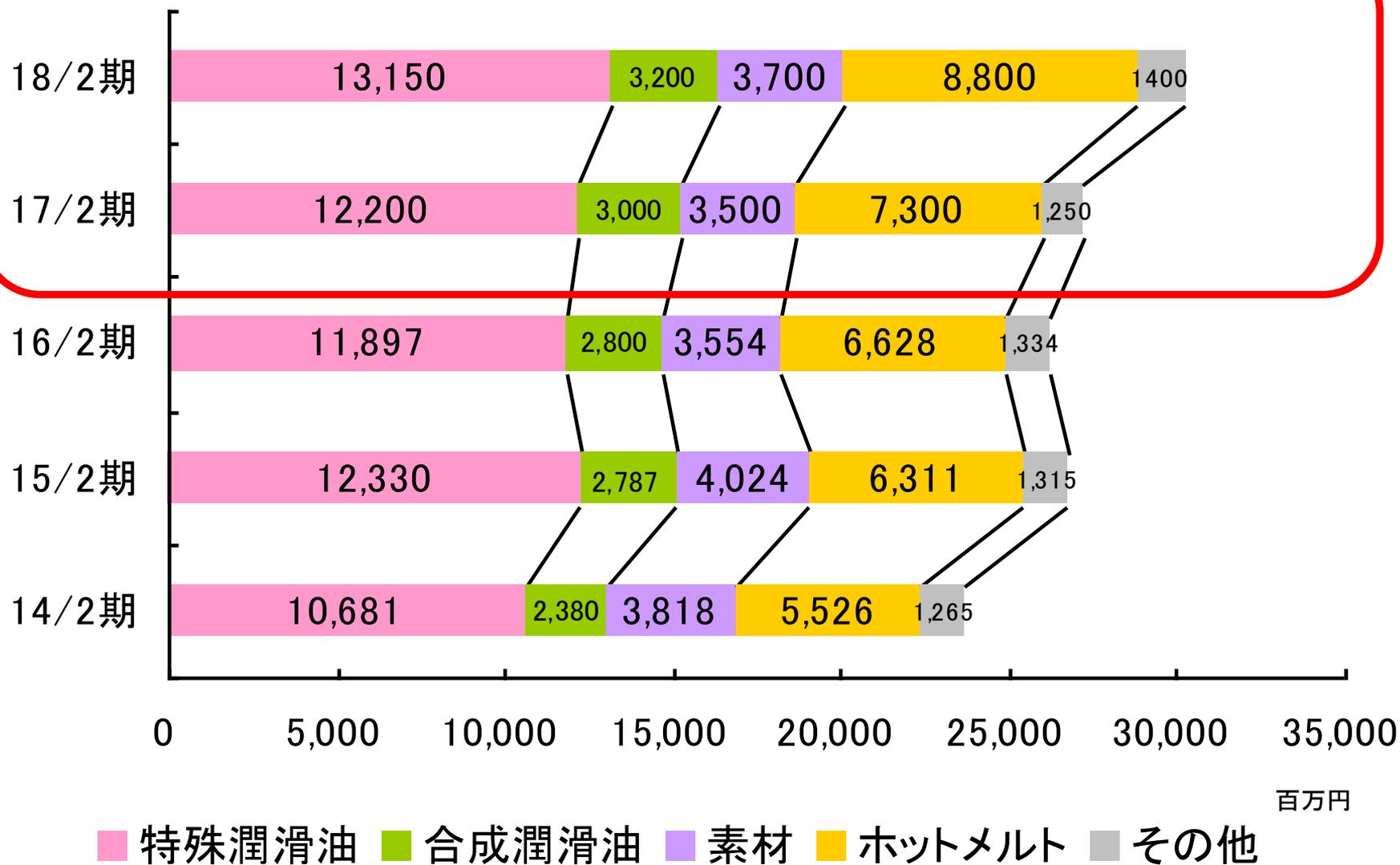
(2015 ~ 17年度) 2016/2/23発表

■ 売上高 ◆ 経常利益



# 中期計画 部門別売上高の推移 (連結)

計  
画



# 鍛造油 グローバル展開 ビジョン

**鍛造油マーケット  
イノベーション  
グローバルシェア10%**

**2020年目標  
グローバルシェア  
3%**

**2017年目標  
(中計15-17)  
グローバルシェア  
3%**

**2014年現在  
グローバルシェア  
2%**

2020年～

黒鉛系を凌駕する白色系潤滑剤での  
シェア拡大(黒⇒白 代替拡大)

2018年～2020年

市場シェアを取る(黒鉛、白色両輪で)

黒鉛系を凌駕する白色系潤滑剤の  
市場投入(黒⇒白 代替開始)

2014～2017年

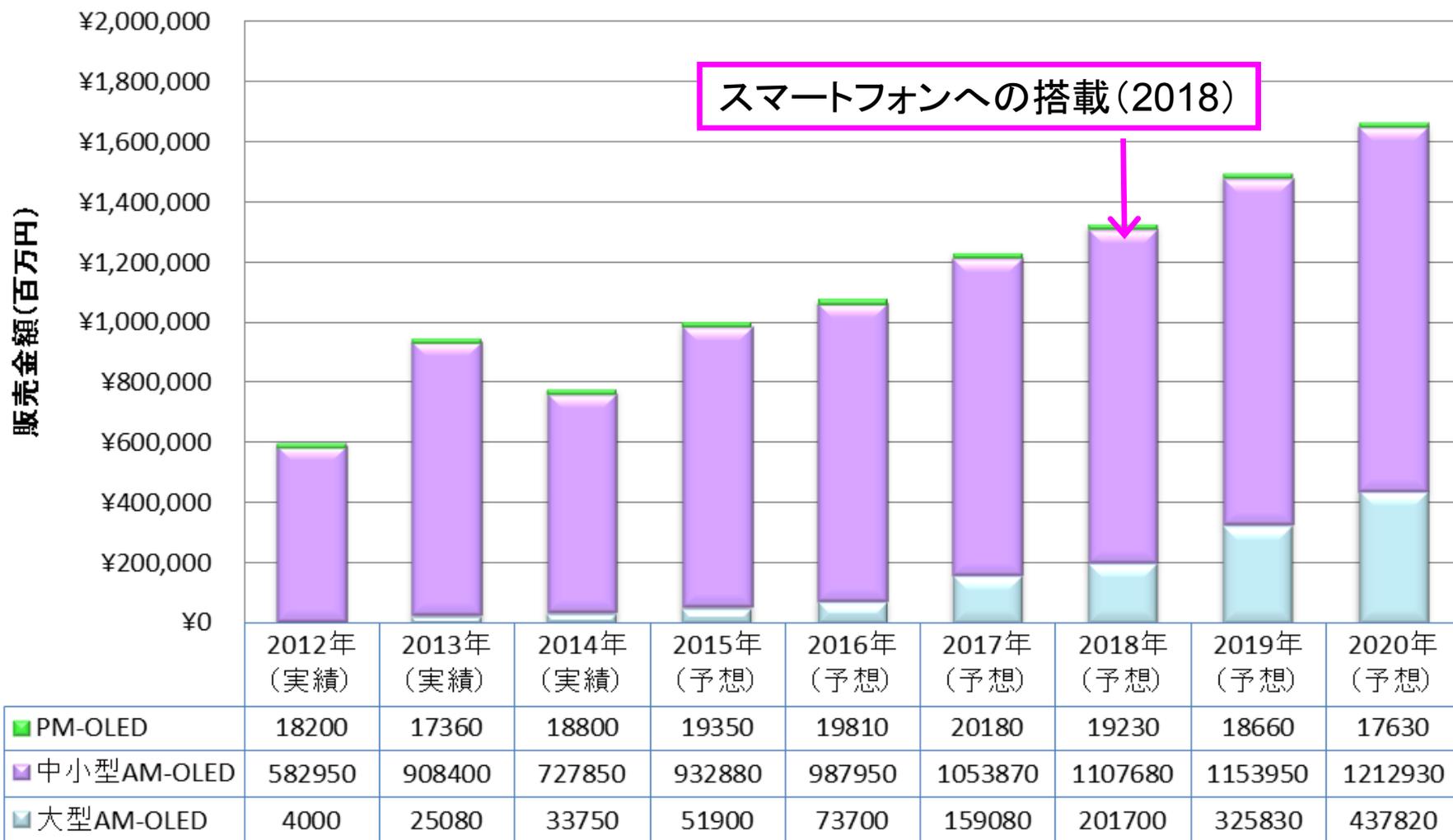
グローバル市場への本格参入

市場シェアを取る(黒鉛、白色両輪で)

来る黒鉛代替に向け  
市場シェアを取る

**黒鉛市場へ  
新規参入**

# 有機ELパネルの市場



2018年に、スマートフォンが立ち上がる予定

# エネルギーデバイス関連製品①

## 有機デバイス用 封止材

有機デバイス：有機物の発光体(有機EL素子)を使った照明や表示器などの機器

有機デバイス用 封止材：水分に弱い有機EL素子を、水分から守るシール材(接着剤)



目に優しい光を放つ照明



“フレキシブル(曲がる)”  
ディスプレイなどの  
次代表示機器



## 『モレスコ モイスチャーカット』シリーズ

国内トップメーカーでの採用実績をもとに世界市場へ展開

# エネルギーデバイス関連製品②

## ガス・水分透過率測定装置(試料のガスや水分へのバリア性を測定)



ガス・水分透過率測定装置

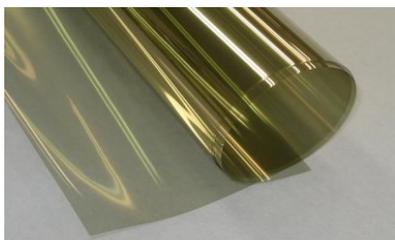
### ＜特徴や機能＞

- ・世界最高の超高感度測定(検出下限 $10^{-7}$  g/m<sup>2</sup>/day)
- ・幅広い測定範囲( $10^{+1}$ ～ $10^{-6}$ g/m<sup>2</sup>/day)
- ・短時間測定
- ・公的機関の認証マーク付きで、測定値を保証
- ・水分のみならず、あらゆるガスの測定も可能



公的機関(産業技術総合研究所)  
の認証マーク

# 受託分析：バリアフィルム、食品・医薬品分野



バリアフィルム



ラップフィルム



医薬品包装



コンタクトレンズ

今年度、導入した装置は、水蒸気のみならず、ガスも測定可能

食品・医薬品分野：ラップフィルムや医薬品包装、コンタクトレンズ等は、酸素透過量が重要となる。

市場（受託分析の数量、費用）を調査し、装置をフレキシブルに運用する

# ガス・水分透過率測定装置の販売

設計・製造

装置を販売したら、  
新たに装置を製造する。



※従来機



※新型機

装置販売

安定性・信頼性が向上した  
装置を、販売する。

受託分析、他

装置の安定化をはかり、  
受託分析を推進する。

# 新製品・改良品

## ホットメルト接着剤

反応型ホットメルト  
(自動車向け)



## 切削油剤

航空機部品向け



## 作動液

脂肪酸エステル



## 鍛造潤滑油

黒色系・白色系

**本社・研究センター**

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

**株式会社 MORESCO**

<http://www.moresco.co.jp/>  
IR窓口 078-303-9058(経営企画部)